



利根中央病院だより

第56号
2020年 夏号

きらめき



発行責任者 利根中央病院 院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

研修医の紹介とごあいさつ

研修プログラム責任者・副院長 吉見 誠至

4月から当院に新たに初期研修医6名が加わりました。コロナ禍で当院の外来を止めざるを得なかったことや研修関連の行事が中止になるなど、臨床研修にも影響がでましたが、5月中旬からは外来診療も再開となり、臨床研修も日常に戻っています。

初期研修医には研修期間中に医師としてのしっかりとした基礎をつくって、地域の医療にも貢献してくれることを期待しています。

視野を広くもち、それぞれの目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。

初期研修中に様々な経験を積むと思いますが、時にはうまくいかない時もあるかもしれませんが、そんな時は成長の機会と捉えて暖かく見守ってあげてください。



植野 貴也

今年度より研修医としてお世話になります。大学では合気道をやっていました。出身は岐阜ですが、多くの縁によって利根沼田に辿り着きました。この地で皆様の指導の元、切磋琢磨して頑張ります。ご迷惑をお掛けすることもありますがよろしくお願い致します。



山田 知義

今年度より研修医としてお世話になります。奈良県出身で信州大学理学部、会社員を経て群馬大学に編入学致しました。この利根沼田地域で皆様から数多くのことを学び、医師としての土台を築きたいと思っております。宜しくお願いいたします。



林 佑志郎

生まれ、育ちは群馬の伊勢崎、大学は茨城です。「神様のカルテ」にあこがれ医師を志し、ようやくスタートラインにたてました。沼田医療圏の患者さんや医療従事者の笑顔を目指し、教わるばかりではなく、能動的に動きまわります。よろしくお願い致します。



吉田 卓生

今年度より研修医としてお世話になります。埼玉県出身で、10年以上バドミントンをやっていました。利根沼田の医療に貢献させていただきたく、研修病院として志願致しました。ご迷惑をお掛けすると思いますが、よろしくお願い致します。



松本 瑛未

今年度から研修医として入職いたしました。利根沼田地域の医療に微力ながら貢献したいと考えております。未熟な身ではありますが、患者様ひとりひとりと向き合い成長していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



吉田 佑貴

今年度より入職いたしました。前橋市出身で、大学では合気道をやっておりました。まだまだ未熟ではありますが、地域の皆様のお力になれるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



救急科開設について

総合診療科部長（科長）・救急科副科長 鈴木 諭

当院は沼田医療圏の二次救急医療を担う一医療機関として、各医療機関や消防行政と協力しながら救急医療に携わってきました。年間2000件を超える救急車による救急患者を受け入れるとともに、各医療機関から緊急治療の必要な患者様の紹介を各科中心に受け入れてきております。また、災害拠点病院として、医療圏内で発生した災害に対応ができるよう、毎年秋に大規模院内災害訓練を行うとともに、県内外で発生した災害に対してDMAT隊の派遣を行なってまいりました。

今年度新たに救急科専門医である上野雅仁医師が着任したことを受け、長年当院で沼田医療圏の救急及び災害医療に携わってきた副院長の関原正夫医師を科長とし、総合診療科鈴木を含めた常勤医師3名

体制で救急科を開設することといたしました。各医師とともに他科との兼務にはなりますが、今まで以上に迅速かつ円滑な救急医療の提供と傷病者の受け入れができるよう、現在体制整備を行なっております。緊急処置の必要な循環器疾患、消化器疾患、手術症例等に関しても各専門科との連携を行いながら対応しております。

新型コロナウイルス感染症流行に伴う医療機関における救急患者受け入れによる負担は増していることと思われます。当科でも各医師のみならず看護スタッフ、事務スタッフ一丸となり診療を行なっております。各機関と連携を強化し、このコロナ禍を乗り越えたいと思います。



前列左より上野 Dr、関原 Dr、鈴木 Dr

登録医制度のご案内

地域医療連携室長 原田 孝

日頃より、患者様のご紹介をいただきありがとうございます。
 当院の運営につきましても、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当院は、地域医療の中核的病院としての機能を十分に発揮し、紹介患者・救急患者の受入れや設備の共同利用、研修会の開催などを通して地域医療全体の質的向上を図り、地域における良質な医療を提供する体制を整備することを目的に、登録医制度を開始いたします。

ご登録いただきました先生方には、登録医証を送付させていただきます。

今後も地域の先生方並びに近隣の医療機関様との連携を充実させていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

●登録医の申し込み

「登録医申込書」にご記入の上、地域医療連携室へお送りください。ホームページよりダウンロードできます。

救命支援センターにFAXもしくは郵送にて提出してください。 FAX:0278-25-9801		利根中央病院記入欄 登録医番号 第 号 登録日 年 月 日	
利根中央病院 登録医申込書 申込日: 年 月 日			
医療機関名			
医療機関所在地	(〒 -)		
電話番号	() -		
FAX	() -		
Eメール	以		
	登録医氏名	専門科目	
① 院長 (代表者名)			
② 登録医師			
<small>※記入欄が足りない場合はコピーしてお使いください。</small>			
<small>※患者さま、及び地域住民向けとして、登録医療機関名等を利根中央病院のホームページ上、院内掲示、登録医案内リーフレットにて公表させていただきます。 <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない</small> <small>当院から患者さまを紹介する際の発表いたしますので、下記に必ず「同意」をお願いたします。</small>			
●対応可能な検査 <input type="checkbox"/> CT <input type="checkbox"/> MRI <input type="checkbox"/> 内視鏡 (CF・GF・その他 ()) <input type="checkbox"/> その他()			
●専門分野・疾患 (自由記載)			
●積極的に受け入れたい疾患 (糖尿病やがんのフォロー等)			

●登録医証等の発行

登録医の先生には「登録医証」を交付させていただきます。

●登録医制度のメリット

- ・ご紹介いただいた患者様の早期対応に務めます。
- ・入院中の紹介患者様への訪問および当院医師の同席のもとでのカルテ閲覧が可能です。
- ・ご紹介いただいた患者様は、症状が安定したら紹介元の登録医に逆紹介させていただきます。
- ・かかりつけ医がない患者様には登録医を優先的に紹介させていただきます。
- ・登録医の案内リーフレットを作成し、院内に配備いたします。(ご希望により)
- ・院内外来待合のサイネージ(電子看板)に登録医一覧を掲載させていただきます。(ご希望により)
- ・当院ホームページに登録医の情報を掲載させていただきます。(ご希望により)
- ・医療機器の共同利用(CT・MRI・骨密度)ができます。
- ・図書室の利用ができます。
- ・当院が行う情報交換会(1回/年)・症例検討会(2回/年)にご参加いただけます。
- ・当院情報を定期的にご案内いたします。

●お問い合わせ先

利根中央病院 地域連携室

TEL : 0278-25-9800 FAX : 0278-25-9801





新型コロナウイルス対策

感染管理認定看護師 松井 奈美

当院では、新型コロナウイルス感染症の経験から感染対策を強化しています。

職員は、業務中は常時サージカルマスクを着用しています。また職員同士が共同使用する食堂や休憩室なども密を避けて使用しています。

環境対策として、職員自身が各職場で周辺を含めて清拭清掃を行っています。消毒液は、新型コロナウイルスに効果のある0.05%濃度の次亜塩素酸ナ

トリウム液を使用しています。濃度低下に注意が必要なため、消毒液は毎日作り替えています。

発熱のある患者様や新型コロナウイルスを疑うような症状のある方は、一般の患者様と動線を分けて診療しています。救急外来受付には、飛沫防止シートを設置、マスク着用ポスターやアルコール消毒液を設置して感染防止に努めています。また外来全体でソーシャルディスタンスが保てるように椅子の間



共有スペースの消毒



外来受付の飛沫対策

引きやお待ちいただく際の足元の位置目印などを設置しています。

院内には患者様や来院される皆様にご使用いただくアルコール消毒剤も準備し安心して受診していただけるように取り組んでいます。

きらめき トピックス

6/25 消防訓練を実施

当院は建物の規模から防火だけでなく防災管理および自衛消防を組織することが求められる施設です。毎年2回の法定訓練のうち1回は地震も想定した防災訓練を実施しています。訓練は利根沼田広域消防本部消防隊員立会の下、総務課に自衛消防本部を設置し、各階に自衛消防地区隊を形成し訓練を行います。

避難訓練後は消火栓から実際の放水圧を体験したり、消火器の訓練も毎回実施しています。火災を発生させないことは当然ですが、火災や地震等の二次災害を防ぐためにも真剣に取り組んでいます。



水消火器による放水訓練



訓練終了後に自衛消防地区隊の反省点を確認

